



福田せいじ ネット通信

平成28年名古屋市議会6月定例会

名古屋市議会の6月定例会が14日開会し、名古屋城天守閣の木造復元について河村市長は「天守閣の木造復元に関し、無作為抽出の市民2万人に対して、優秀提案の内容、収支計画などの情報をお知らせし、アンケートを実施。この市民アンケートの結果に関し、約60%を超える市民の皆さんが木造復元を望まれる結果となり、一方で約29億円をかけて実施するコンクリート造である現天守閣の耐震改修工事を希望される方は、約26%と木造復元を希望される方の半分にも満たない状況でございます。」(抜粋)と述べられました。

市長は天守閣の耐震性能の低さをもって、2020年までに木造復元をすべきと推し進めています。しかしながら「木造復元は賛成だが急ぐことはない」というご意見も多数あります。

市長は6月での本会議で次のようにコメントされました。

「議会よりご提案を頂きました、天守閣の木造復元を目指す時期を、現在誘致を進めておりますアジア大会が開催される2026年やリニア新幹線が開業いたします2027年を目途に見直すということも名古屋にとっては大きな起爆剤になり得るものと考えております。」



2万人アンケート結果

「名古屋城天守閣の整備」の考え方(有効回答数7,224)

区分	割合
2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う	21.5%
2020年7月までにとらわれず木造復元を行う	40.6%
現天守閣の耐震改修工事を行う	26.3%
その他	6.2%
無回答	5.4%

2万人アンケートに係る考察

- 木造復元を行うと答えた市民は「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」と「2020年7月までにとらわれず木造復元を行う」を合わせると**60%を超えた**。
- 「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」について理解を示さなかった市民は無回答を除き**70%を超えた**。

大磯コミュニティセンター前をバリアフリーに!

整備前



鉄板の下



整備後



大磯学区コミュニティセンター入口前は、階段の上に鉄板が置かれているだけで危険でしたので、階段をなくして全体をスロープにし(←→の部分)、鉄板の下にあった排水溝を移動させました。